（様式第１）

**・「情報項目、様式第1、別紙2.xlsx」の各シートにデータを入力することで、“様式第1(Word転記用)”シートへ記載内容が自動転記されます。そちらを先に作成の上、コピーし、この（様式第1）に貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

２０２**○**年**〇〇**月**〇〇**日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

　理事長　殿

**【重要】提案者の記入方法（以降も共通）**

**●応募時点で個人の場合**

**応募タイプによらず、法人設立前の方は、提案者は“個人”となります。提案者の「名称（提案者名）」「代表者氏名（提案の代表者名）」とも“個人名”を記入してください。現時点の所属を記入するものではありません。**

**●法人として応募する場合**

**提案事業を実施するための法人を設立済みの方は、提案者は法人となります。提案者の「名称」に法人名を記入し、「代表者氏名」には、法人の代表者の役職・氏名を記入してください。**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　提案者　　　　　〒**〇〇〇－〇〇〇〇**

住　　　所　**神奈川県川崎市・・□□□**

名　　　称　**●●株式会社**

代表者氏名　**代表取締役社長　根戸　太郎**

|  |  |
| --- | --- |
| e-Radの研究機関コード（１０桁） | **●●●●●●●●●●** |

　　２０　　年度　NEDO Entrepreneurs Program(NEP)助成金交付提案書

（・・**助成事業名（必ず記入してください）**・・）

　上記の件について、NEDO Entrepreneurs Program(NEP)助成金の交付を受けたいので、NEDO Entrepreneurs Program(NEP)助成金交付規程第７条第１項の規定に基づき下記のとおり提案します。

**応募時点で個人の場合は空欄としてください。**

**法人として応募する場合で、登録済みの場合は記入してください（未取得の場合も、後日登録して頂きます）。**

記

　１．助成事業の名称

**・事業内容がわかりやすく、短く簡潔な名称とし、３０字以内としてください。**

**・「 」（括弧）はつけないでください。**

　２．助成事業の概要

**・提案する事業内容を、１５０字以内（厳守）で記入してください。**

**・Web公開する場合がありますので、対外的に公表して問題ない内容としてください。**

　３．助成事業の総費用 **〇,〇〇〇,〇〇〇**円

**・本様式を含み、提案書に記入の費用は全て“消費税抜き”で記入してください。**

**・助成事業期間全体で必要となる経費を記入してください。**

**・別紙2 (4)項目別明細表の「助成事業に要する経費」の金額と一致させてください。**

**・5,225,360円のように円単位で記入してください。**

　４．助成金交付提案額 **〇,〇〇〇,〇〇〇**円

**・助成事業期間全体で必要となる経費のうち、助成を希望する額を記入してください。**

**・別紙2(2)助成先総括表の「助成金の額」の金額と一致させてください。**

**・応募タイプに応じて、助成の上限額（NEPタイプA：５百万円未満、NEPタイプB：３千万円以内）が異なりますので、注意してください。**

**・4,987,000円のように千円単位で端数切り下げの金額を記入してください。**

**（NEPタイプAは、4,999,000円が最大になります）**

**・なお、****採択時に決定した助成金交付額からの変更は、NEDOと相談の上、適正と認められれば変更は可能ですが、大幅な増額（上限額の範囲内）は認められない場合がございます。**

　５．助成事業の開始及び終了予定年月日

　　　　　開始年月日交付 交付決定通知書に記載する事業開始の日から

　　　　　終了予定年月日 ２０**〇〇**年**〇〇**月**〇〇**日

**最長で、NEPタイプAは2023年1月31日、NEPタイプBは2023年3月15日です。**

６．助成事業期間における資金計画

（１）収支計画

（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 区分 | 2022年度 |  | 計 |
| 支出 | 助成事業に要する経費 |  |  |  |
| 収入 | Ⅰ．自己資金 |  |  |  |
| Ⅱ．借入金 |  |  |  |
| Ⅲ．その他の収入 |  |  |  |
| (小計) |  |  |  |
| Ⅳ．助成金交付提案額 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

**・助成事業に要する経費は、別紙2(4)項目別明細表の「助成事業に要する経費」の合計を転記してください。**

**・Ⅳ．助成金交付提案額は、別紙2(2)助成先総括表の「助成金の額」を転記してください。**

**・各年度とも支出＝収入合計が同額となるようにしてください。**

**・この表に記載の金額とは別に、助成金交付提案額に係る消費税分（助成金に含まれないため自己負担）を、別途負担していただく必要があります。**

**【記載例①】**

**（助成金交付提案額で助成事業に要する経費の全額を賄える場合）**



**【記載例②】**

**（助成事業に要する経費を助成金交付提案額及び自己資金・借入金・その他の収入で賄う場合）**



　（２）借入金等の調達方法

**６（１）においてⅡ．借入金、Ⅲ．その他の収入を記入した場合には、その調達方法を記載ください。上記表を補足するため、必要な資金をいつどのように確保するか記載してください。**

　７．連絡先

提案者（主任研究者）

所属 **〇〇〇〇〇〇**

役職・氏名 **〇〇〇〇〇〇　　〇〇　〇〇**

郵便番号、住所 **〇〇〇〇〇〇**

電話番号 **〇〇〇〇〇〇**

ＦＡＸ番号 **〇〇〇〇〇〇**

Ｅメールアドレス **〇〇〇〇〇〇**

緊急連絡先

氏名 **〇〇　〇〇**

郵便番号、住所 **〇〇〇〇〇〇**

電話番号 **〇〇〇〇〇〇**

Ｅメールアドレス **〇〇〇〇〇〇**

**・緊急連絡先は、提案者以外の人を記載してください。共に活動する研究員の方でも構いません。**

（添付資料１）

**・「助成事業説明書（事業化計画書）」は、7ページ以内で作成してください。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

助　成　事　業　説　明　書

（事　業　化　計　画　書）

１．想定する事業の概要

・どのような事業をしようとしているのか。顧客のペイン(必ず解決しなければならない強いニーズのある課題)と、提案するソリューション（そのペインの解決策）、だれが代金を払うのか(見込み顧客)などを簡潔に記入してください。

２．本事業を始めるきっかけ、動機、目的

**・事業化を目指した背景について記入してください。**

**・なぜ、自分たちが事業を進めるのか。なぜ、今のタイミングか等を含めてください。**

３．解決すべき課題／市場ニーズ／ターゲット顧客

**・本事業の背景となる解決すべき課題や顧客やユーザーが有するニーズ（いずれも具体的に調査したものが望ましい）について記載してください。当該課題解決の重要性についても記載してください。**

**・ターゲット顧客について：**

**＊提供する技術、サービス、商品に対して、実際にお金を払う顧客をなるべく具体的に（例えば、企業向けであればターゲット企業の業種、企業規模等の属性やターゲットとなり得る顧客数の見込み等を含めて）記載してください。また、その顧客がなぜお金を払うのかを記載してください。**

**＊そのターゲットを狙った場合に市場規模はどの程度になるのかについて記載してください。**

４．提供する技術、サービス、商品（具体的アプリケーション）と提供対象

**・技術シーズを基に、誰に対してどのようなサービスや商品を提供するのか、提供する技術、サービス、商品を通じて、課題やニーズがどう解決されるのかを具体的に記載してください。**

５．技術シーズの概要

**・本事業の基盤となる技術シーズの概要と現時点での成熟度（ラボレベル、試作段階（プロトタイプ）、製品化段階など）を記載してください。本項目では専門用語をなるべく避け、多くの人が理解できる内容としてください。**

６．技術の詳細

**・読み手に当該分野の前提知識があるとして、技術シーズの特徴をより詳しく記載してください。**

７．類似技術の状況（競合分析）

**・提供する技術、サービス、商品の先行事例や類似技術について、その状況を記載してください。直接的な競合だけではなく、課題の解決やニーズの充足が期待できる別の方法（間接的な競合）についても、可能な限り記載してください。**

８．事業の優位性及び期待される効果

**・本事業で提供する技術、サービス、商品が競合と比較して優れているポイント、あるいは競合が抱える課題（要求スペック・価格等）を記載し、いかに市場での競争に勝っていくのかを記載してください。**

９．利益モデル

**・本事業における、顧客、エンドユーザーを含むステークホルダー（ビジネス上の関係者。例えば、原料調達先や外部委託先、代理店など）を整理し、お金の流れを記載してください。また各ステークホルダーとすでに関係性がある場合は、記載可能な範囲でその程度を具体的に記載してください。**

１０．事業化プロセス

**・黒字転化する時期までを目途として、資金計画や人員計画、リソースの調達など、事業化に向けたアクションを記載してください。**

**・また、事業を海外展開する予定が、あれば明記してください。**

１１．事業における課題

**・現時点から事業の立ち上げにあたって、充足されていない要素（課題）を記載してください。**

１２．事業課題の解決方法

**・上記の事業における課題を解決するために必要なリソース（資金、設備、人員、アライアンス先、など）を記載してください。アライアンス先については、実際の企業名など、なるべく具体的に記載してください。**

１３．資金調達計画

　　（想定される事業計画を遂行するのに必要な資金をいつどのように調達するのか）

**・売上計画を達成する為に、どの時期に、何の目的（資金使途）で、いくら資金調達（シリーズA,B,C・・）を予定しているのか。売上高の変化点と資金調達を関連づけて記入してください。**

１４．エグジットプラン

**・資金調達、売上を実現出来た場合、会社の企業価値がどのように上昇し、その結果、いつ頃エグジット（株式上場、事業・会社売却等）する想定か。**

１５．事業開発体制（法人設立済みの応募者のみ記入）

（１）会社概要

・提案者名（法人名）　**●●●●株式会社**

・法人番号　**13桁の番号**

・住所　　　**●●●●●●●●**

・電話番号　**代表電話番号もしくは連絡先電話番号を記入してください。**

・法人の履歴

**法人の履歴（設立以降の名称、所在地、資本金等の事業活動に関する沿革）を簡単に箇条書きで記入してください。**

（２）設立年月

　　　**●●●●**年**●●**月

（３）資本金及び主たる株主

・資本金　**●●●**千円

・株主（上位５名）　※うち、創業時以降に加わった株主名の後ろに★を付ける

 １．　 　　　　（持株比率　**●●**％）

 ２．　　　　　 （持株比率　**●●**％）

 ３．　　　　（持株比率　**●●**％）

 ４．　　　　　 （持株比率　**●●**％）

 ５．　　　　　　 （持株比率　**●●**％）

（４）従業員数

　　　**●●**人（内訳　経営者：**●**人、従業員：**●**人、パートタイム：**●**人）

**本公募開始（2022 年2 月22 日）の時点で「応募可能な法人の要件⑥：雇用保険に加入義務（「1週間の所定労働時間が20時間以上」かつ「31日以上雇用が継続される見込みがある場合」は雇用保険への加入が義務付け）のある労働者を雇用していないこと。」という応募要件を満たしていることを確認してください。**

（５）会計監査人名

　　　**設置がない場合は“なし”と記入。設置している場合は公認会計士または監査法人名を記入。**

（６）主たる業種

（７）決算日

　　　**●●**月**●●**日

（８）法人設立以降の売上高（第1期決算を迎えていない場合、設立から応募時までの累計を記入）

　　　２０**●●年度：●●●**万円

２０**●●年度：●●●**万円

２０**●●年度：●●●**万円

（９）応募要件等から見た会社状況／売上の概要

　　　**以下の設問に対して、具体的に回答してください。**

①過去の売上の概要（過去に売上がある法人のみ記入）

**いつから、どのような事業によって売上があるのか。**

②過去の売上と本提案事業の位置付け（過去に売上がある法人のみ記入）

**本提案事業が既存事業の拡大及び新規事業の創出ではないことを説明してください。**

③本事業の応募に至った背景

**本提案事業の事業化に向けて、今のタイミングでNEPに応募して事業化を目指す理由。**

**(貴法人の事業化活動の経緯、市場変化、技術シーズの開発状況 等)**

（添付資料２）

**・「助成事業実施計画書」は、10ページ以内（別紙１、別紙２を除く）で作成してください。**

**・別紙1は「別紙1.xlsx」で、別紙2～4は「情報項目、様式第1、別紙2.xlsx」で作成してください。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

助成事業実施計画書

１　研究開発の体制等

1. 研究体制図

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　助成費用の対象外

　　　　　　　 研究員A　　　　 　　研究員B　　 　 　　 研究員1　　研究員2

　　　　　　　 　　　(氏名)　　　　　　　 (氏名)　　　 （氏名） （氏名）

 　　　 　 (役割) 　　 (役割)　　　 (役割) (役割)

助成事業者

 研究員a　研究員b、研究員ｃ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（氏名）　(氏名) (氏名)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (役割) 　(役割) (役割)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　共同研究先

研究開発体制図

**・助成事業を遂行する体制と、研究者の氏名、役割分担を、図で具体的に記入してください。図の書式は自由に変更していただいて構いません。**

**＜例＞　研究員Ａ　根戸次郎　試作品の分析評価**

**・共同研究先がある場合、提案者と共同研究等の相手先（大学などの研究機関等と事業会社）とのそれぞれの役割が分かるように記入してください。事業会社が複数の場合には、主たる連携先１社を記してください。**

**・ただし、費用計上可能な共同研究先は１機関のみで、かつ大学などの学術機関に限ります。**

**・助成費用の対象外となる共同研究先についても、事業の全体像を示すために記載してください。ただし、助成費用の対象外については、研究員の記載は必須ではありません。**

**・登録可能な研究員は、主任研究者を含めて最大３名までです。**

**・共同研究先についても、研究員の登録は最大３名です。**

**・登録された研究員であれば、研究活動に係る旅費が計上可能です。**

　　(２) 助成先における研究体制（別紙１に記載）

　　(３) 共同研究先における研究体制（共同研究先がある場合は記入）（別紙１に記載）

**・該当なしの場合は「該当なし」と記入**

　各組織の役割

(a)　全体の目標

(b)　提案者（主任研究者）の役割

(c)　共同研究等の相手先の役割と協力項目

**・提案者（個人の場合は登録研究員、法人の場合は自社に籍を置く者を含む）のうち、共同研究先の研究機関にも籍を置く者がいる場合、“NEP提案者”、“共同研究先”それぞれの立場における役割を明確にし、利益相反等を回避するための対応を説明してください。**

(d)　本助成事業に関わる共同研究等の成果の取扱い（特に知的財産権の帰属）

　　(４) 委員会等における外部からの指導又は協力者（該当時は記入）（別紙１に記載）

 ・**外部指導者又は協力者の活動に対する謝金や旅費計上をする場合は必須です。**

**・該当なしの場合は「該当なし」と記入**

２　助成事業に要する費用の内訳等（全て別紙２に記載）

　　（１）全期間総括表　**←記入は必須。**

　　（２）助成先、研究分担先総括表　**←記入は必須。**

　　（３）共同研究先総括表　**←共同研究先がある場合は作成。該当なしの場合は「該当なし」と記入**

　　（４）項目別明細表（助成先用／共同研究先用）**←記入は必須。**

**※共同研究先がある場合は、共同研究先用も作成。該当なしの場合は「該当なし」と記入**

３　これまでの開発の経緯

1. これまでの開発状況の概要

**・これまで、何を目指して、どこまで研究開発が進んでいるのかを記入してください。**

**・実用化の基となる技術を生み出したプロジェクト等があれば記入してください。**

**・本事業に関連する既存技術において、受賞歴があれば記入してください。**

（２） 研究開発の独創性・新規性の根拠

① 実用化の基盤となる技術、取得特許、ノウハウ等の内容

**実用化の基盤となる技術、これまで開発したコア技術を説明してください。**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特許の名称（最新状況） | 出願番号（出願日）（公開、公告、登録のうち最新のもの） | 出願人 | 発明者 | 係争の有無 | 明細書等の写し |
| **○の装置****（特許取得済）**　 | **特許第▲▲号****（登録日H▲．▲．▲）**　 | **◇◇◇◇** | **根戸太郎****根戸次郎**　 | **無し** | **【別添4】****特許１**　 |
| **△の方法****（審査請求中）**　 | **特願××××－××××××****（H▲．▲．▲）**　 | **◇◇◇◇** | **根戸太郎** | **無し** | **【別添4】****特許２**　 |

**・特許の最新状況については、「審査請求中」、「特許取得済み」等を記入してください。**

**また、特許の出願人及び発明者（提案書に記入されている全員）を記入してください。**

**・自社特許でない場合、基となる特許の使用許諾を受けているか、あるいは占有実施権の有無を記入してください。**

**・必要に応じ、特許の明細書等（要約でも可）を別添4として提案書に添付してください。ただし、特許1件あたり3ページ以内にまとめた要約版（特許の要約、請求項、発明の効果、図　等）を添付してください。**

②　国内外他社における関連特許の取得状況と、ご自身の特許の回避状況

**・国内外他社における関連特許の取得状況を記入してください。また、①に記入した特許、ノウハウ等との相違について、権利侵害の可能性を含めて記入してください。**

４　事業期間における助成事業のPoC（Proof of Concept（概念実証））

　　(１) PoC

**・本プログラムでは、起業及び事業化加速に向けた活動（ビジネスプラン作成、市場調査、試作品設計・製作など）を実施していただきます。
起業家候補人材には、技術シーズの原理確認又は市場でのニーズ確認（Proof of Concept; 以下、「PoC」という。）に係る資金（労務費を除く）、事業化のためのビジネスプラン構築に係る研修・個別メンタリング、ビジネスプランの発表及び投資家や事業会社とのマッチング機会を提供することで、研究開発型スタートアップの起業促進及び事業化加速を目指します。**

**・PoCの内容及びPoCの検証手段を、以下に記載してください。（最小２～最大４項目）**

**・提案の時点では定性的な記述でも構いませんが、可能であれば定量的な情報も記載してください。採択された場合は、交付申請の間までにさらにブラッシュアップする機会があります。**

**・調査研究の一環で展示会出展を予定している場合は、そこで、調査又は実証試験をどのように進め、どのような結果を得ようとしているのかを、「５　事業期間における研究開発の内容」に具体的に記入してください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 助成事業期間中のPoC項目・目標 | PoCの検証手段 |
| **PoC1** | **●●に関して、反応効率９０％以上を達成できる触媒を定する。** | **パイロット実験システムを構築。候補とする触媒●、▲、■などを対象として検証する。** |
| **PoC2** | **生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。** | **生成物重量比、反応温度、撹拌速度について最適な反応条件を探索する。** |
| **PoC3** | **物質●●の市場性を、■■分野について調査確認する。また市場については、日、米を中心に調査する。** | **●●分野のメーカーなどを中心に、市場調査を行う。また、物質●●を使用した最終製品のエンドユーザーヒアリングを行う。** |

1. 上記目標設定の理由（国内外における技術動向や既存の製品との関連等について説明すること。）

**・上記目標の設定理由と達成手段を箇条書きで記入してください。**

**・記入にあたって、明確（達成できるレベルを数値により定量的に）かつ簡潔に記入してください。**

**・国内外の競合技術との比較や、ユーザーが要望する製品スペックとの関係等についても説明してください。**

５　事業期間における研究開発の内容

　　（４-(１)のPoCを達成するために必要な研究開発の内容を説明すること。）

* **「事業期間における助成事業のPoC（Proof of Concept（概念実証））」について、各項目の内容を具体的かつ詳細に記入してください。**
* **目標を達成するために共同研究先の研究機関が果たす役割を具体的かつ詳細に記入してください。**
* **ユーザー評価を研究開発に反映させる目的で一部研究開発成果を反映した無償によるサンプル出荷、又は製造原価以下による販売等を行う場合には、その計画とねらいについても具体的に記載してください。**
* **技術課題各々の克服手段について、できるだけ図表を用いてわかりやすく記入してください。**

**PoC１：　　●●に関して、反応効率９０％以上を達成できる触媒を選定する**

**課題：　　・・・・・・・**

**克服手段：　　実用化開発項目 ア）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**実用化開発項目 イ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**PoC２：　　生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。**

**課題：　　・・・・・・・**

**克服手段：　　実用化開発項目 ウ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**PoC３：　　物質●●の市場性を、■■分野について調査確認する。・・・・**

**課題：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**克服手段：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

６　共同研究（ある場合にのみ記入してください。）

1. 共同研究先の研究テーマ及び内容（役割分担を含む。）

**・この事業を進めるに当たり、共同研究先のテーマ、内容及び役割の詳細を記載してください。**

1. 研究成果利用

**・共同研究の技術開発成果を御社は今後の事業化にどのように活用するのかを記載して下さい。**

７　事業期間中の研究開発日程

**・Excelファイル「スケジュール作成用.xlsx）内の「NEP研究開発日程表（タイプA用またはタイプB用）」シートで作成し、図として貼り付けてください。**

**・NEPタイプAとNEPタイプBを同時に応募する場合、****タイプ別に日程表を作成し、それぞれ貼り付けてください。**





８　５年間の事業計画

**Excelファイル「スケジュール作成用.xlsx）内の「5か年事業計画表」シートで作成し、こちらに図として貼り付けてください。**



（別紙１）

（２）助成先における研究体制

 

**・公募ページに掲載されているExcelファイル「別紙1.xlsx」で作成し、貼り付けてください。**

**・グレーの部分は（提案書提出の時点では）記載不要です。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

（別紙１）

（３）共同研究先における研究体制



**・共同研究先がある場合のみ、作成してください。該当がない場合は、本ページは削除してください。**

**・公募ページに掲載されているExcelファイル「別紙1.xlsx」で作成し、貼り付けてください。**

**・グレーの部分は記載不要です。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

（別紙１）

（４）委員会等における外部からの指導又は協力者



**・必要がある場合のみ、作成してください。該当がない場合は、本ページは削除してください。**

**・公募ページに掲載されているExcelファイル「別紙1.xlsx」内の様式を使用してください。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

（別紙２）

（１）全期間総括表

 

**（様式第1）NEP助成金交付提案書の「4．助成交付提案額」に記載した金額と一致させてください。**

**（様式第1）NEP助成金交付提案書の「1．助成事業の名称」に記載した事業名称を記載してください。**

**・公募ページに掲載されているExcelファイル「情報項目、様式第1、別紙2.xlsx」内の様式を使用してください。**

（別紙２）

（２）助成先総括表



**共同研究費は、タイプAは助成金総額の50％未満まで、タイプBは助成金総額の25％未満まで認められます。**

**タイプBは補助員費のみ計上可能。労務費に計上できる上限は、500万円未満または助成額全体の25%未満のいずれか低い方です。**

**項目の名称は変更しないでください。**

**（様式第1）NEP助成金交付提案書の「4．助成交付提案額」に記載した金額と一致させてください。**

**（様式第1）NEP助成金交付提案書の「1．助成事業の名称」に記載した事業名称を記載してください。**

**・公募ページに掲載されているExcelファイル「情報項目、様式第1、別紙2.xlsx」内の様式を使用してください。**

**・NEPタイプBのみ、補助員の労務費を計上することが可能です。（研究員費は対象外）**

**※「研究員費(対象外)」と「補助員費」の区分については、NEDO HPマニュアルの労務費の項目をご参照ください。**[**http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo\_josei\_manual\_manual.html**](http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_manual_manual.html)

**・採択時に決定した助成金交付額からの変更は、NEDOと相談の上、適正と認められれば変更は可能ですが、大幅な増額（上限額の範囲内）は認められない場合があります。**

（別紙２）

（３）共同研究先総括表

 

**（別紙2）（１）全期間総括表の「うち共同研究」に記載した助成金の金額と一致させてください。**

**（様式第1）NEP助成金交付提案書の「1．助成事業の名称」に記載した事業名称を記載してください。**

**項目の名称は変更しないでください。**

**・共同研究先がある場合のみ、作成してください。該当がない場合は、本ページは削除してください。**

**・公募ページに掲載されているExcelファイル「情報項目、様式第1、別紙2.xlsx」内の様式を使用してください。**

**・共同研究先は労務費を計上できません。**

（別紙２）

（４）項目別明細表（助成先用）

 

**（様式第1）NEP助成金交付提案書の「4．助成交付提案額」に記載した金額と一致させてください。**

**（様式第1）NEP助成金交付提案書の「3．助成事業の総費用」に記載した金額と一致させてください。**

**・公募ページに掲載されているExcelファイル「情報項目、様式第1、別紙2.xlsx」内の様式を使用してください。**

**・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。**

**・「助成事業に要する経費」はこの助成事業を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。**

**・提案書の提出時点では、推定値や概算情報でも構いません。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

**・NEPタイプBのみ、補助員の労務費を計上することが可能です。（研究員費は対象外）**

**※「研究員費(対象外)」と「補助員費」の区分については、NEDO HPマニュアルの労務費の項目をご参照ください。　http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo\_josei\_manual\_manual.html**

（別紙２）

（４）項目別明細表（共同研究先用）



**（別紙2）項目別明細表（助成先用）の「Ⅳ．委託費・共同研究費 1.共同研究費（学術機関等） 」の助成対象費用に記載した金額と一致させてください。**

**（別紙2）項目別明細表（助成先用）の「Ⅳ．委託費・共同研究費 1.共同研究費（学術機関等） 」の助成事業に要する費用に記載した金額と一致させてください。**

**・共同研究先がある場合のみ、作成してください。該当がない場合は、本ページは削除してください。**

**・公募ページに掲載されているExcelファイル「情報項目、様式第1、別紙2.xlsx」内の様式を使用してください。**

**・共同研究先は労務費を計上できません。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

【別添１】

事業プランのキーワード

（１）技術キーワードとして、当該実用化開発の「キーワード」（自社の技術シーズに関連する重要と思われる技術キーワード）を最も重要なもの（関連が強いもの）から順に記入してください。

公募ページに掲載されている＜別添「キーワード集」＞から必ず１つは選択し、その該当数字をキーワードの前につけて記入してください。

＜別添「キーワード集」＞に無いキーワードは、本欄に記入せず、（３）フリーキーワードに記入してください。

（２）事業化キーワードとして、製品分野･サービス展開上のキーワードを記入してくださ

い。

（３）フリーキーワードとして、（1）～(3)以外の語句を記入してください。

＜重要＞

記入されたキーワード（特に（１）技術キーワード）は、申請内容を評価する外部専門家を、適切な専門分野から選定する際の必須情報として用います。

必ず記入してください！！

（１）技術キーワード（重要なもの（関連が強いもの）から順に、２つ以上必ず記入すること）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (1)**1010** | **アミノ酸、ペプチド** | (2) |  | (3) |  |
| (4) |  | (5) |  | (6) |  |

（２）事業化キーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ユビキタス社会** | **街頭広告** |  |

（３）フリーキーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **３Ｄ画像技術** |  |  |

（４）専門用語の解説

**・提案書に記載された専門用語について、特に必要と思われるものについて、簡単に説明してください。**

【別添２】

その他の補助金制度との関係等

１．補助金制度等による受給の有無

（１）補助金制度等による受給を受けた事業（提案時点で補助金を受け実施中の内容も含む。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施機関の名称 | **▲▲省** |  |
| 制度の名称 | **平成○○年度××開発補助金** |  |
| 採択者名称 | **（提案者及び提案者が所属する組織など。）** |  |
| 研究者名（エフォート） | **▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）** |  |
| 対象期間 | **（西暦）　年　月　日　～（西暦）　　年　月　日** |  |
| テーマ名 | **～～の開発** |  |
| 補助金額 | **○○円** |  |
| 事業の概要（目標・成果） | **詳しく、明瞭に記述してください。** |  |
| 本提案との差異 | **本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。** |  |

* **提案者及びメンバーが関わっていた制度についての確認です。**
* **当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発で国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等からの委託（再委託を含む）又は補助金交付を受けたことがある場合、その概要を記入してください。**
* **複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。**
* **該当が無い場合には、表は削除し「無し」と記入してください。**
* **記入内容としては、実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金額、****事業の概要（目標・成果（特に実用化した場合の事業展開））、本提案との差違を記入してください。**
* **記入等の不備により、類似・同一の研究開発で補助金等の受給が判明した場合は、虚偽の提案として審査の打ち切り、交付決定後の場合でも交付決定の取り消し等を行うことがあります。**
* **なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。**

（２）補助金制度等による受給を提案中又は提案予定の事業

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | **▲▲省** |
| 制度の名称 | **平成○○年度××開発補助金** |
| 提案者名称 | **◇◇（提案者及び提案者が所属する組織など。）** |
| 研究者名（エフォート） | **▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）** |
| 対象期間 | **（西暦）　年　月　日　～（西暦）　年　月　日** |
| テーマ名 | **～～の開発** |
| 補助金額 | **○○円** |
| 事業の概要（目標） | **詳しく、明瞭に記述してください。** |
| 本提案との差異 | **本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。** |

* **当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発を、国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等に現在申請中、あるいは申請を予定している場合、その概要（実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金額、事業の概要（目標）、本提案との差違等）を記入してください。**
* **複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。**
* **該当が無い場合には、表は削除し「無し」と記入してください。**
* **なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。**

２．過去にＮＥＤＯ等で実施した事業との関係

本提案が、過去にＮＥＤＯ等で実施した研究開発事業の成果を活用したものであり、本提案の助成事業を実施することにより、その成果の実用化が加速すると考えられる場合には以下に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | **NEDO**  |
| 制度の名称 | **平成○○年度××開発補助金** |
| 採択者名称 | **◇◇（提案者及び提案者が所属する組織など。）** |
| 研究者名（エフォート） | **▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）** |
| 対象期間 | **（西暦）　年　月　日　～（西暦）　年　月　日** |
| テーマ名 | **～～の開発** |
| 補助金額 | **○○円** |
| 本提案との関係 | **詳しく、明瞭に記述してください。** |

* **NEDO TCPへの参加実績がある場合も記入してください。**
* **複数ある場合は表をコピーして事業ごとに記入してください。**
* **該当が無い場合には、表は削除し「無し」と記入してください。**

【別添３】

－ 主任研究者研究経歴書の記入について －

研究経歴書は、研究開発等実施体制の審査のために利用されます（ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます）。

事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者である主任研究者について、研究経歴を主任研究者研究経歴書（次ページ）に記入し提出してください。

【記入にあたっての注意点】

①研究開発経歴（現職含む）：

* 1. 「過去の研究実績（参画プロジェクト）」については、自社独自のプロジェクトのみならず過去に参画したNEDOプロジェクト等も含めて記載してください。また、大学への派遣や他の企業／研究機関での勤務経験なども併せて記載してください。

②受賞歴、当該研究開発に関する最近５年間の主要論文、研究発表、特許等（外国出願を含む）：

* 1. 当該研究開発プロジェクトに関連する研究成果を記載してください。
	2. 研究成果を示すものとして、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可）」、「特許（外国出願を含む）」等がありますが、これに限定しません。なお、共著者、共同発表者、又は共同発明者でも可です。

※「論文、研究発表、特許等」は、原則として少なくてもこれらのうち１つについて当該分野に関する研究成果を示す記述があることが必要となります。これらがない研究者においては、「その他」項目に当該プロジェクトを遂行する上で当人の知見が不可欠であることを示す事由を記載してください。技能者や分析担当者・技術動向調査担当者等において、「論文」「研究発表」「特許」等が無い場合については、当該人物が研究に不可欠である旨を有する技能や経験に関連付けて記述してください。

③自己ＰＲ等：

* 1. 起業・事業化にかける意欲、情熱、リーダーシップ、柔軟性、論理力等について、提案者（主任研究者）がＰＲする点があれば、簡潔に記載してください。
	2. 「大企業等からのスピンアウト／カーブアウト」に該当する応募者は、その経緯を簡潔に記載してください。

**・行が足りない場合は、適宜レイアウトを調整しても構いません。ただし、全体を1ページ以内に収めるようにしてください。**

**提出にあたって、本ページは削除してください**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  | 経歴書作成日： |  |
|  | 主任研究者　研究経歴書 |
| 氏名 |  |  |
| フリガナ |  |  |
| 生年月日（西暦） |  |  |
| 所属研究機関のe-Rad研究機関コード（10桁）(応募時点で法人設立済み、かつ取得済みの場合) |  |  |
| e-Rad研究者番号（8桁） |  |  |
| 所属 |  |  |
| 部署名 |  |  |
| 役職名 |  |  |
| 所属機関の研究者代表（該当：１　非該当：２） |  |  |
| 最終学歴 |  |  |
| 学位 |  |  |
| 学位取得年（西暦） |  |  |
|  | 研究開発経歴（西暦　※現職含む） |
| 　 | 年 | ～ | 年 |  | 研究開発内容 |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | 受賞歴（西暦　※年月） |
| 　 | 年 | 月 |  | 主催者名 | 表彰制度名称 |  | 受賞名称 | 受賞件名 | 備考 |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
|  | 当該研究開発に関連する最近5年間の成果等（各主要なもの10件以下） |
| 論文　 | 発行年 | 月 |  | 主な著者１ | 著者２ |  | 著者３ | 表題 | 論文雑誌名 | 巻（Vol.） | 号 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
| 研究発表　 | 発表年 | 月 |  | 主催者名 | イベント名 |  | 発表者 | 発表タイトル | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 特許等　 | 出願年 | 月 | 日 | 出願番号 | 登録番号 |  | 発明等の名称 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| その他　 | 年 | 月 |  | タイトル |  | 自由記述 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 本研究開発プロジェクトにおける役割 |
|  |
| 自己PR等 |
|  |

* 研究開発等実施体制の審査のために利用されます。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

【別添３】

【別添４】

特許の明細書

**・（添付資料２）「助成事業実施計画書」の３（２）研究開発の独創性・新規性に記載した特許について、特許1件あたり3ページ以内にまとめた要約版（特許の要約、請求項、発明の効果、図　等）をこの箇所に挿入してください。出願、公開、登録された特許書類一式をそのまま添付することの無いようにしてください。要約版には、右上【別添４】の記載はなしで構いません。**

**・本提案に関連する特許がない場合は、本ページは作成不要です。**

**提出にあたって、本ページは削除してください。**